【「現在、他のユーザが本体システムにログインしています。~」と表示される場合の対処方法】

1. 新しい版数の提供後に年度版システムを起動しようとした際に、データの更新が行われて いないため、以下のエラーメッセージが表示されます。



2. メッセージに従って運用管理システムのメニュー206 でデータの更新を行おうとすると、 以下のメッセージが表示されてデータの更新が行えない場合があります。

確認	
0	現在、他のユーザが本体システムにログインしています。 すべてのユーザがログアウト後、再度処理を行ってください。
	<u>(0K)</u>

- 3. この場合は、データの更新を行おうとしている対象年度の年度版システムに、ログイン中の ユーザーがいることが原因となり、データの更新を行えない状況です。
- そのため、ログイン中のユーザーを確認しようとして、対象年度の年度版システムに ログインしようとするのですが、上記1のメッセージが表示されて、ログイン中のユーザー を確認できないため堂々巡りになります。
- 5. 大変お手数ですが、このような状況になった場合は、ご利用のPCに登録されている システムを削除し、最新版へ更新前にご利用いただいていた版数のシステムを一度インス トールし直します。

そのうえで、ログイン中のユーザー情報をクリアし、データの更新の対象年度のシステムに 誰もログインしていない状況にしたうえで、再度、年度版システムを最新版に更新後、データ の更新を行ってください。

具体的には以下のご対応方法となります。

【ご対応方法】

運用管理システムをご利用いただける方(=通常は親法人の担当者)のPCで、年度版システムが最新版に更新されていないPC(※1)がある場合は、<u>以下のIの対処方法</u>(P3~P7)を行ってください。

- ※1 最新版の提供後に、Webメニューからデータの更新を行う対象年度の年度版 システムを、1度も起動していない場合(※2)です。
- ※2 利用中のシステム版数を確認しようとしてWebメニューからシステムを起動する と、最新年度に更新されてしまうのでご注意ください。

また、運用管理システムをご利用いただける方(=通常は親法人の担当者)のPCで、年度版 システムが既に最新版に更新されてしまったPCしかない場合は、<u>以下のIIの対処方法</u>(P8~ P16)を行ってください。

I 運用管理システムをご利用いただける方(=通常は親法人の担当者)のPCで、年度版システムが最新版に更新されていないPCがある場合

データの更新の対象年度のシステムが最新版に更新されていないPCで、以下の作業を 行ってください。

1. ショートカットからのシステム起動

以下の方法でデータの更新を行う対象年度の年度版システムを、ショートカット(※)から 起動します。

- ※Webメニューから年度版システムを起動すると最新版に更新されてしまうため、 ショートカットを作成して起動する必要があります。
- ※ISOイメージファイル(DVD)でシステムをインストールし、ショートカットから システムを起動している場合は、当該1の処理は不要なため、以下の2へ進んで ください。
- (1) e-TAX グループ通算の場合
 - 以下の exe を右クリックし、[送る]>[デスクトップ(ショートカットを作成)]を クリックします。

C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GXYYYY¥eConsTax.exe

※「YYYY」の箇所は、対象のシステム年度の西暦です。

例えば、令和4年度の場合は、「GX2022」となります。



- デスクトップに作成された「eConsTax.exe-ショートカット」のファイルを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- ③ [ショートカット]タブの[リンク先]欄で、設定済みの以下の文字列の後ろに、
 半角スペースと対象年度の西暦の4桁の数字を追加します。
 (以下は例として令和4年度(2022)です。)
 ※以下赤字の箇所です。(半角スペースは『で表現しています。)
 "C:\Program Files (x86)\TKC\PeConsTax\PeC2022\PeConsTax.exe"]2022
- ④ [適用]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックして[プロパティ]画面を 閉じます。

eConsTax.exe -	ショートカットの)プロパティ			>
全般 ショートカッ	ト 互換性	セキュリティ	詳細	以前のバージョン	y l
Gr PIII eC	onsTax.exe -	・ショートカット			
種類:	アプリケーショ	ン ン ン ン や 名 フ	nsTax.e	exe"の後ろに、	±7
場所:	GX2022	十八八	~~~~		Ŷ.
リンク先(工):	≥s (x86)¥Tk	(C¥eConsTax	¥GX2022	¥eConsTax.exe"	2022
作業フォルダー(<u>S</u>):	"C:¥Progra	am Files (x86)¥TKC¥eC	ConsTax¥GX2022	2"
ショートカット キー(<u>K</u>):	なし				
実行時の 大きさ(<u>R</u>):	通常のウィン	パウ			\sim
コメント(<u>O</u>):					
ファイルの場所	を開く(<u>F</u>)	アイコンの変	更(<u>C</u>)	詳細設定(D))
		OK	キャンセ	2ル 適用	用(<u>A</u>)

⑤ 当該ショートカットファイルをクリックし、対象年度の年度版システムを起動します。

(2) eConsoliTax の場合

手順は上記(1)と同様ですが、①の exe が eConsoliTax の場合は以下のパスになることのみ 異なります。

C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTYYY\eConsTax.exe

※「YYYY」の箇所は、対象のシステム年度の西暦です。

例えば、令和4年度の場合は、「eCT2022」となります。

→ PC →	100	(C:) > Program Files	(x86) > TKC > eC	onsTa	x > eCT2022 >	
名前 卿 Craysani	^		更新日時 2022/10/25 12:45		種類	サイズ
CTZip.dll			2022/08/17 13:54		アプリケーション拡張	16 KB
eConsTax.exe			2022/09/12 23:02		アプリケーション	37,693 KB
ect2022disk1.zi		開く(<u>O)</u>			圧縮 (zip 形式) フォ	42 KB
ect2022disk2.zi	•	管理者として実行(<u>A</u>)			圧縮 (zip 形式) フォ	68,370 KB
ect2022disk4.zi	S	Skypeで共有			圧縮 (zip 形式) フォ	3,632 KB
ECTCTLDB.exe		<u>E</u> mEditor			アプリケーション	4,151 KB
ECTMKCTL.exe		互換性のトラブルシューティ	ング(<u>Y</u>)		アプリケーション	4,107 KB
ECTPRINT.exe		スタート メニューにピン留め	する		アプリケーション	26,906 KB
ECTTECUT.exe		OneDrive に移動(<u>M</u>)			アプリケーション	4,121 KB
ETArgs.dll		7-Zip		>	アプリケーション拡張	20 KB
etaxversion		CRC SHA		>	ファイル	1 KB
ETBizLogic.dll	Ħ	Microsoft Defender でフ	キャンする		アプリケーション拡張	68 KB
ETCommon.dll	À	共有			アプリケーション拡張	60 KB
etct2022disk2.z	-	WinMerge			圧縮 (zip 形式) フォ	25,406 KB
ETCTMAIN.exe		タスク バーにピン 空めする(K)		アプリケーション	5,265 KB
ETDataAccess.c		以前のパージョンの復元()	<u>n</u>		アプリケーション拡張	20 KB
譯 ETDtCtrl.exe		秋前のパークヨクの1をル(型	<i>.</i>	_	アプリケーション	24 KB
🚯 ETDtCtrl.exe.co		送る(<u>N</u>)		>	ଃ Bluetooth デバイス	
譜 ETDtLock.exe		切り取り(<u>T</u>)			EmEditor	
🚯 ETDtLock.exe.c		コピー(C)			📻 FAX 受信者	
ETDtMsde.exe					調 FAX 受信者	
ETDtMSDE.exe.		ショートカットの1FAX(S)			📃 デスクトップ (ショートカ]ットを作成)
🚯 ETDtXbrl.exe.co		削除(<u>D</u>)			🚊 ドキュメント	
태종 ETIsUser.exe		名前の変更(<u>M</u>)				
🚯 ETIsUser.exe.co		プロパティ(<u>R</u>)			Ea (zip 形式) フォ,	ルダー
ETMethodExter	aera		2022/02/17 17:05	-	- DVD RW ドライブ (D:)
ETPrm dll			2022/02/17 17:05			-

2. ログイン中のユーザー | Dの確認とログアウト処理

対象年度の年度版システムにログインし、以下のタブで当該年度のシステムのいずれかの データにログイン中のユーザー IDを確認します。

(1) [各法人の処理状況の確認]ボタン>[TISC の処理状況]のタブで、[ログイン状況]列が「〇」 になっているユーザー | Dを確認します。

※[処理区分]列が、当該ユーザー | Dが当該年度でログイン中の処理区分です。 四半期試算・期末試算や修正申告は複数のデータが存在する可能性がありますが、 データ名までは表示されません。

er 4	圖 各法人の処理状況の確認(T S C の処理状況) - □ ×							×		
7714(E) 表示(⊻)	ソ−ル(<u>T</u>) ウィント [・] ウ(<u>W</u>)	~⊮7° (<u>H</u>)							
	=	ーザ検索 最	新情報 先	頭行へ	最終行へ	いがの管理	理			
入力・	計算状況 9~	ひゲシートの確定・解	除 添付書類の作	〒成状況	電子申告データの	の作成状況	電子申告の進捗状況	TISCの処	理状況	
							処理状況確認日時	; 2022/10/2	5(火)13	: 47
行	ユーザID	ユーザ名	所属会社	出名	ログイン状況	ログイン時刻	刘 処理区分	電話番号	内線	^
19	ect9999	ect9999			×					
20			के से		0	2022/10/25	() 四半期・期末	08088188401	34335	

 (2) 以下のオンラインQ&Aをご参照いただき、ログイン中のユーザー | Dで、システムから ログアウト(※)を行っていただきます。
 ※通信エラーやPCの強制断などでシステムを強制終了した場合は、実際には現在ログ インされていないが、ログイン中の情報が残ってしまい、[ログイン状況]列で「〇」が 付いている場合があります。

その場合は、当該ユーザー | Dで対象のデータにログイン(※)し、ログイン情報の解除 を行うか、強制ログアウトの機能を使用し、ログイン中のユーザー情報を全てクリア してください。

※ログイン情報の解除処理は、以下の通り行います。

- 実際にログイン中のユーザーがいる場合
 当該ユーザーにシステムからログアウトしてもらいます。
- ② 実際にログイン中のユーザーはおらず、ログイン情報だけ残ってしまっている場合

当該ユーザー | Dを使用している担当者からパスワードと前回処理していた 処理区分 (データ名)を確認いただき、当該ユーザ | Dで対象のデータにログイン してログイン情報をクリアします。

もしくは、強制ログアウト機能で、ログイン情報をクリアします。

【ご参考】<u>(二重ログイン)「指定されたユーザIDで、既にログインしているユーザ</u> がいます。」の対処方法(0101498)

【ご参考】 強制ログアウトの処理方法、使用目的及び注意点(0101423)

- (3) 必要に応じてログイン一時停止(※)の処理を行います。
 - ※ログイン一時停止の処理は、一時的に親法人の担当者以外のユーザーが、対象のデータに ログインできないようにする処理です。データの更新を行う場合は、他のユーザーが処理 対象のデータ(=通常は最後に作成したデータ)に対してログイン一時停止を行うことで、 データの更新が行えなくなることを防ぐことができます。

【ご参考】ログイン一時停止の処理方法と使用目的(0101464)

3. 最新版へのシステム更新

Webメニューでデータの更新対象の年度版システムを起動し、システムを最新版に更新します。

※ | S O イメージファイル(DVD)をご利用の場合は、 | S O イメージファイル(DVD)からシステムを最新版に更新します。

【ご参考】 ISOイメージファイルを使用したシステムのインストール方法(0101287)

4. データの更新

運用管理システムにログインし、メニュー206 で対象年度を指定し、データの更新を行って ください。

副 グループ通算申告システム(e-TAXグループ通算)3	圏用管理システム [2022年10月版]	- 🗆 🗙
ファイル(E) 表示(V) ヘルブ(且)		
_{グループ通算申告システム} e-TAXグループ通算		
 運用管理システム	2. データ管理	
1 基本情報	【年度更新】	
1. 00-4-1848	201.年度更新 新年度の処理を開始する前に。	必ず実施してください。
2. データ管理 ▶	【データの作成と管理】	
	III グループ通算申告システム(e-TAXグループ通算)	×
3. セキュリティ設定・ログの確認	『データの更新』を行う年度を指定してください。	
	年 度 : 除和4年度グループ通貨申告システム(&TAKクルー	ブ通覚)
	O K +6)tili	
	♥ 処理する年度を選択してください。	
	システムあバージョンアップ	た場合に実施してくだ
 システムの更新方法の設定 (更新予定日の登録) 	208.テージの更新 さい。	
	Copyright(C) 2007	-2022 TKC Corporation
P		1
		F10 終了

以上

II 運用管理システムをご利用いただける方(=通常は親法人の担当者)のPCで、年度版
 システムが既に最新版に更新されてしまったPCしかない場合
 年度版システムが最新版に更新されてしまったPCで、以下の作業を行ってください。

1. ログイン中のユーザー | Dの確認

データの更新を行う対象年度の年度版システムに、どのユーザー | D がログイン中か 確認します。

(1) 運用管理システムのメニュー206 でデータの更新を行い、以下のメッセージを表示させます。



 (2) 以下の xml ファイル(※1)を確認し、どのユーザ | D(※2)のログイン情報が残っているか 確認します。

当該 xml をメモ帳などのテキストエディタで開き、表示されるユーザー I Dをメモして おいてください。

・ファイル名:ログイン中のユーザー覧.xml

・格納場所:C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL

- ※1 メニュー206 でデータの更新を行い、上記(1)のメッセージが発生したタイミングで 当該 xml ファイルが作成されます。
- ※2 当該 xml ファイルには、メニュー206 でデータの更新を行おうとした対象年度の 年度版システムで、いずれかのデータに現在ログイン中のユーザー | Dが記録 されます。



2. 対象年度のシステムDBの削除

以下のオンラインQ&Aの「I 対象年度のシステムDBを削除する方法」ご参照いただき、 データの更新の対象年度のシステムデータベース(DB)を削除してください。

※当該オンラインQ&Aの【回答】欄の最初に、対象年度のプロダクトキーをメモする 手順があるのでメモして置いてください。後程プロダクトキーの登録が必要になります。 【ご参考】システムDBの削除方法(0101621)

3. システムフォルダの削除

「C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax」の直下にある以下のフォルダを削除して ください。

① e-TAX グループ通算の場合 ※以下イメージの青枠の4つのフォルダ

1)eCTCTRL

2) ectctrlverchk

3)GXYYYY ※(例)令和4年度版の場合は「GX2022」

4)gxYYYYverchk ※(例)令和4年度版の場合は「gx2022verchk」

※「YYYY」は、データの更新の対象年度です。(例)令和4年度版:2022

② eConsoliTax の場合 ※以下イメージの赤枠の5つのフォルダ

1)eCTCTRL

2)ectctrlverchk

3)eCTYYYY ※(例)令和4年度版の場合は「eCT2022」

4)ectYYYYverchk ※(例)令和4年度版の場合は「ect2022verchk」

5)etctYYYYverchk ※(例)令和4年度版の場合は「etct2022verchk」

※「YYYY」は、データの更新の対象年度です。(例)令和4年度版:2022



4. WMenu.iniの記述の削除 ※上記3で削除したシステム年度の情報の削除です。

(1) 以下の ini ファイルをメモ帳などのテキストエディタで開きます。

C:¥Program Files (x86)¥TKC¥Shared Files¥WMneu.ini

C:¥Program Files (x86)¥TKC¥Shared Files						
名前	更新日時					
📓 WMenu.ini	2022/10/25 12:41					
Win11SQLReg.cmd	2022/07/14 15:21					
Win11SQL.xml	2022/07/14 8:30					
👪 Win11SQL.exe	2022/07/14 15:48					

(2) 以下の記述が残っている場合は削除し、当該ファイルを上書き保存します。

① e-TAX グループ通算の場合 ※以下の1)と2)の2つの記述を削除します。

1)運用管理に関する記述

「[eCTCTRL]~lconIndex=0」の9行を削除します。

[eCTCTRL]

Title=連結納税システム 運用管理システム

ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\PeConsTaxPeCTCTRL\PeCTMNGMN.exe

ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe

DefDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTCTRL\

AppDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTCTRL\

Version=YYYY 年 MM 月版

lconName=C:\Program Files (x86)\FTKC\FeConsTaxFeCTCTRL\FECTMNGMN.exe
lconIndex=0

※Version の「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など

🧾 WMenu.ini - 义モ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H) Version=2019年07月版 IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2015¥eConsTax.exe IconIndex=0
[eCTCTRL] Title=グルーブ通算申告システム 運用管理システム ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ AppDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ Version=2022年10月版 IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe IconIndex=0
 [eCT2019] Title=今和元年度/連結納税システム FxeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eCopsTax¥eCT2019¥eCopsTax.exe 2018

|ExeWame-U:#Frogram Files (x06)#IKU#eUOnslax#eUl2013#eUonslax.exe 2013 |EvoMameVD=C:MDrownam Eiles (v00)MTVCMeCepeTevMeCT9010MeCepeTev.eve 2)年度版に関する記述

「[GXYYYY]~lconIndex=0」の10行を削除します。

[GXYYYY]

Title=令和 Y 年度/グループ通算申告システム

ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\GXYYY\eConsTax.exe YYYY

ExeNameXP=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\GXYYYY\eConsTax.exe

ParamXP=YYYY

DefDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\GXYYYY

AppDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\GXYYYY

Version=YYYY 年 MM 月版

IconName=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\GX\YYY\eConsTax.exe
IconIndex=0

※「YYYY」は対象年度のシステムの西暦です。(例)令和4年度版の場合は「2022」です。
 ※Version の「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など

WMenu.ini - メモ帳 ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H) IconIndex=0

 [GX2022] Title=令和4年度/グルーブ通算申告システム ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GX2022¥eConsTax.exe 2022 ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GX2022¥eConsTax.exe 2022 ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GX2022¥eConsTax.exe ParamXP=2022 DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GX2022 AppDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GX2022

IconIndex=0

Version=2022年10月版

[AKR2022] Title=会和4年度注人電子由告システム(ASP1000R)

Title=令和4年度法人電子申告システム(ASP1000R) ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥ASP1000R¥AKR2022¥AKRMAIN.exe 2022

IconName=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\GX2022\eConsTax.exe

- eConsoliTax の場合 ※以下の 1)~3)の3つの記述を削除します。
 - 1) 運用管理に関する記述

「[eCTCTRL]~lconIndex=0」の9行を削除します。

[eCTCTRL]

Title=連結納税システム 運用管理システム

ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTCTRL\ECTMNGMN.exe

ExeNameXP=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTCTRL\ECTMNGMN.exe

DefDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTCTRL\

AppDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTCTRL\

Version=YYYY 年 MM 月版

IconName=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTCTRL\ECTMNGMN.exe IconIndex=0

※Version の「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など

🥮 WMenu.ini - 火モ帳

ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H) Version=2019年07月版 IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCT2015¥eConsTax.exe IconIndex=0 [eCTCTRL] Title=グルーブ通算申告システム 運用管理システム ExeName=C:¥Program Files(x86)¥TKC体eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe ExeName<C:#Frogram Files (x86)#TKC#eConsTax#eCTCTRL#ECTMNGMN.exe ExeNameXP=C:#Program Files (x86)#TKC#eConsTax#eCTCTRL# AppDir=C:#Program Files (x86)#TKC#eConsTax#eCTCTRL# Yersion=2022年10月版 IconName=C:#Program Files (x86)#TKC#eConsTax#eCTCTRL#ECTMNGMN.exe IconIndex=0 [eCT2019]

Title=令和元年度/連結納税システム ExeName=C:¥Program Files(x88)¥TKC¥eConsTax¥eCT2019¥eConsTax.exe 2019 EveNameYP=C:¥Program Files(x88)¥TKC¥eConsTax¥eCT2019¥eConsTax.exe 2019

2)年度版に関する記述 ※a.が eConsoliTax の記述、b.が e-TAX 連結納税の記述です。

a. 「[eCTYYYY]~lconIndex=0」の10行を削除します。

[eCTYYY]

Title=令和 Y 年度/連結納税システム

ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥eConsTax.exe YYYY ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥eConsTax.exe ParamXP=YYYY

DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY

AppDir=C:\Program Files (x86)\TKC\eConsTax\eCTYYY

Version=YYYY 年 MM 月版

IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥eConsTax.exe IconIndex=0

※「YYYY」は対象年度のシステム西暦です。(例)令和4年度版の場合は「2022」です。
 ※Version の「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など

b. 「[ETCTYYY]~IconIndex=0」の10行を削除します。

[ETCTYYYY]

Title=令和Y年度TKC電子申告システム(e-TAX連結納税) ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥ETCTMAIN.exe YYYY ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥ETCTMAIN.exe ParamXP=YYYY DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY AppDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY Version=YYYY 年 MM 月版 IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥ETCTMAIN.exe IconIndex=0

※「YYYY」は対象年度のシステム西暦です。(例)令和4年度版の場合は「2022」です。
 ※Versionの「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など

🇐 WMenu.ini - メモ帳

ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) 書式	:(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)
Space=471859200 Delete=C:¥Program Files	(x86)¥tkc¥ET	102021
[eCT2022] Title=令和4年度/連結紙 ExeName=C:¥Program File ExeNameXP=C:¥Program Fi ParamXP=2022 DefDir=C:¥Program Files AppDir=C:¥Program Files Version=2022年10月版 IconName=C:¥Program File IconIndex=0	物税システム s (x86)¥TKC¥e(les (x86)¥TKC (x86)¥TKC¥eC (x86)¥TKC¥eC es (x86)¥TKC¥e	ConsTax¥eCT2022¥eConsTax.exe 2022 ¥eConsTax¥eCT2022¥eConsTax.exe onsTax¥eCT2022 onsTax¥eCT2022 eConsTax¥eCT2022¥eConsTax.exe
[ETCT2022] Title=令和4年度TKC個 ExeName=C:¥Program File ExeNameXP=C:¥Program File ParamXP=2022 DefDir=C:¥Program Files AppDir=C:¥Program Files Version=2022年10月版 IconName=C:¥Program File IconIndex=0	夏子申告システ. s (x86)¥TKC¥e les (x86)¥TKC (x86)¥TKC¥eC (x86)¥TKC¥eC es (x86)¥TKC¥e	Z₄(e-TAX連結納税) ConsTax¥eCT2022¥ETCTMAIN.exe 2022 ¥eConsTax¥eCT2022¥ETCTMAIN.exe onsTax¥eCT2022 onsTax¥eCT2022 eConsTax¥eCT2022¥ETCTMAIN.exe

5. ISOイメージファイル(DVD)から最新版に更新前に使用していた版数のシステムの インストール

以下のオンラインQ&Aをご参照いただき、最新版に更新前に使用していた版数の

システムを、ISOイメージファイル(DVD)からインストールしてください。

なお、プロダクトキー等の登録時に、上記2でメモしていただいたプロダクトキーの入力 が必要になるためご留意ください。

【ご参考】 <u>ISOイメージファイルを使用したシステムのインストール方法</u>(0101287)

- 6. 上記1で確認したログイン中のユーザー | Dのログアウト処理
- (1) 上記4 でインストールした最新版に更新前に使用していた版数のシステムを Windows の ショートカット(※)から起動します。

- (2) 念のため、上記1で確認したログイン中のユーザーIDが、以下の画面でもログイン中と なっていることを確認します。
 - [各法人の処理状況の確認]ボタン>[TISC の処理状況]のタブで、[ログイン状況]列が「〇」 になっているユーザー | Dを確認します。

※[処理区分]列が、当該ユーザー | Dが当該年度でログイン中の処理区分です。 四半期試算・期末試算や修正申告は複数のデータが存在する可能性がありますが、

 [※]Windowsのスタートボタン>TKCシステム>令和X年度/グループ通算申告システム
 (eConsoliTaxの場合は、「令和X年度/連結納税システム」となります。

データ名までは表示されません。

	昭									
7714(E) 表示(V)	ツール(T) ウィント・ウ(W)	~⊮7° (H)							
	- ī.	ユーザ検索 最	新情報	先頭行へ	最終行へ	いがり管理				
入力・	計算状況 ワー	+ングシートの確定・解	除 添付書	類の作成状況	。 電子申告データの	の作成状況 電	子申告の進捗状況	TISCの処	理状況	
	処理状況確認日時 : 2022/10/25 (火) 13:47							: 47		
ŕτ	ユーザID) ユーザ名	Ē	所属会社名	ログイン状況	ログイン時刻	処理区分	電話番号	内線	^
19	ect9999	ect9999			×					
20	- 1 - 1				0	2022/10/25 ()	四半期・期末	02032138401	34335	

(3) 以下のオンラインQ&Aをご参照いただき、ログイン中のユーザー丨Dに、システムから ログアウト(※)を行っていただきます。

※通信エラーやPCの強制断などでシステムを強制終了した場合は、実際には現在ログ インされていないが、ログイン中の情報が残ってしまい、[ログイン状況]列で「〇」が 付いている場合があります。

その場合は、当該ユーザー | Dで対象のデータにログイン(※)し、ログイン情報の解除 を行うか、強制ログアウトの機能を使用し、ログイン中のユーザー情報を全てクリア してください。

※ログイン情報の解除処理は、以下の通り行います。

- 実際にログイン中のユーザーがいる場合
 当該ユーザーにシステムからログアウトしてもらいます。
- ② 実際にログイン中のユーザーはおらず、ログイン情報だけ残ってしまっている場合

当該ユーザー | Dを使用している担当者からパスワードと前回処理していた 処理区分 (データ名)を確認いただき、当該ユーザ | Dで対象のデータにログイン してログイン情報をクリアします。

もしくは、強制ログアウト機能で、ログイン情報をクリアします。

- 【ご参考】<u>(二重ログイン)「指定されたユーザIDで、既にログインしているユーザ</u> <u>がいます。」の対処方法</u>(0101498)
- 【ご参考】 強制ログアウトの処理方法、使用目的及び注意点(0101423)
- (4) 必要に応じてログイン一時停止(※)の処理を行います。
 - ※ログイン一時停止の処理は、一時的に親法人の担当者以外のユーザーが、対象のデータに ログインできないようにする処理です。データの更新を行う場合は、他のユーザーが処理 対象のデータ(=通常は最後に作成したデータ)に対してログイン一時停止を行うことで、 データの更新が行えなくなることを防ぐことができます。

【ご参考】<u>ログイン一時停止の処理方法と使用目的(0101464)</u>

7. 最新版へのシステム更新

Webメニューでデータの更新対象の年度版システムを起動し、システムを最新版に更新 します。

※ | S O イメージファイル(DVD)をご利用の場合は、 | S O イメージファイル(DVD)から システムを最新版に更新します。

【ご参考】 ISOイメージファイルを使用したシステムのインストール方法(0101287)

8. データの更新

運用管理システムにログインし、メニュー206 で対象年度を指定し、データの更新を行って ください。

■ グループ通算中告システム(e-TAXグループ通算)運用管理システム [2022年10月版] - □ ×								
ファイル(E) 表示(V) ヘルブ(日)								
グルーブ通算申告システム								
e−TAXグループ通算								
運用管理システム	2. データ管理							
1. 基本情報	【年度更新】							
	201.年度更新	新年度の処理を開始する前に必ず実施してください。						
2. データ管理	【データの作成と管理】							
	📰 グループ通算申告システム(e-TAXグループ)	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)						
3. セキュリティ設定・ログの確認	「データの更新」を行う年度を指定して	[ください。						
	年 度 : 帝和4年度グループ	通算甲苦システム(e-TAXグループ通算) ▼						
	ОК 1 +/8							
♥ 処理する年度を選択してください。								
システムの更新方法の設定	206.データの更新	システムをバージョンアップした場合に実施してくだ さい。						
(更新才定日の登録)		Copyright(C) 2007-2022 TKC Corporation						
		F10 終了						